

## 特別史跡 大湯環状列石

(読み方) とくべつしせき おおゆかんじょうれっせき

(英語) Oyu Stone Circles

※「Circle」が複数形であることに留意。

### 【所在地】

秋田県鹿角市十和田

### 【年代】

紀元前 2,000 年～紀元前 1,500 年 (約 4,000～3,500 年前)

### 【キャッチコピー】

規則的な構造を示す 2 つの環状列石

### 【説明文：99字】

大湯川沿いの段丘上に立地する環状列石を主体とする祭祀遺跡。万座と野中堂の 2 つの環状列石があり、川原石を組み合わせた配石遺構によって二重の円環が形成されている。周囲からは祭祀遺物が数多く出土している。

### 【説明文：150字】

大湯川沿いの段丘上に立地する環状列石を主体とする祭祀遺跡。万座と野中堂の 2 つの環状列石は川原石を組み合わせた配石遺構によって二重の円環が形成され、それぞれに「日時計状組石」が配置されている。環状列石の周囲には掘立柱建物が同心円状に配置され、土偶や鐸形土製品、石刀等などの祭祀遺物が数多く出土している。

### 【説明文：250字】

大湯川沿いの段丘上に立地する環状列石を主体とする祭祀遺跡。万座と野中堂の 2 つの環状列石があり、大小の川原石を組み合わせた配石遺構によって円環が形成されている。万座環状列石が最大径 52m、野中堂環状列石が最大径 44m となる。それらの周囲には、掘立柱建物、貯蔵穴、土坑墓などが同心円状に配置され、土偶や土版、鐸形土製品、石棒、石刀などの祭祀遺物が数多く出土している。2 つの環状列石の中心の石と「日時計状組石」を結んだ軸線が夏至の日没方向とほぼ一致するため、太陽の運行を意識して構築されたとする意見もある。